

春の私学助成運動で来年度予算実現を！

2026年度の拡充＝年収590万円の所得制限撤廃と授業料助成上限の45万7000万円への引き上げ
必要な財源は約4000億円(文教関係予算の約1割)と言われている

↓
文科省は「別途検討中」としている → **正式には何も決まっていない**

↓
2026年度予算の骨子が決まるのは…

6月頃? 2025年「骨太の方針」(政府・与党) ← **ここに必要な額を計上させる!**
8月末 2026年度予算概算要求(文科省)

就学支援金拡充を着実に実現させるための春の運動

① 6月中に県単位で学習会を開催する

運動の歴史、情勢の捉え方、今年の運動の方向など→各県に送付した学習資料を活用して
教職員が学び、そこから単組、父母、生徒に広げていく

② 父母・生徒の「生の声」を集め、私学の実態を伝える

要請ハガキ、ひとこと欄付き個人署名・団体署名など(形式は自由)
→国向けの宛先は文部科学大臣宛とし、要請項目は以下の3項目

<概算要求期 全国統一 国向け要請項目>

1. 教育予算を増額してください
2. 私学において「少人数学級の実施」「専任教職員増」が可能となるよう、経常費助成補助を増額してください
3. 高等学校等就学支援金の所得制限を撤廃し、授業料支援額を直近の私立高校授業料全国平均額に引き上げて
ください

※ 一次集約: 6月6日(金)までに、集めた枚数と「ひとこと集」(一覧にしたもの)を本部に送ってください

※ 最終集約: 7月4日(金)院内集会に持ち込んでください→同日、文科省に直接手交します

③ 「ネコババ」させない、都道府県学事課への要請・懇談

「ネコババ」させない、県独自の制度拡充と経常費助成拡充の要請
→県独自の「制度拡充案」(政策)を検討し、5月～6月中に県に示す
夏のブロックキャラバン・対県要請を全県で実施する(単独では難しい県もブロックの支援で実施を検討)
→本部からの役員派遣も含めて6月中旬までに日程を確定させる

④ 地元選出国會議員・県議會議員との懇談

6月中に地元選出国會議員の事務所および県議會議員・会派事務所を分担して訪問する
→「高校授業料無償化」の課題は何かを知ってもらい、「私学の無償化」実現に尽力してもらう
國會議員には7月4日(金)の院内集会への参加を要請する
県議會議員には夏のブロックキャラバンにおける対県要請への参加と県議会でのご挨拶採択を要請する
→地元事務所の訪問は父母の参加・同席を追求する

緊急

春の運動が情勢を動かし来年度予算の拡充を実現させる!
全国の私学が動いて私たちの要求を実現させよう!